

## 寄贈品コーナー 「平塚空襲展」

2008年 6月14日(土)～7月17日(木)

昭和20年(1945)7月16日はB29約130機による平塚空襲がおこなわれた日です。この空襲では約7600戸の家屋が焼失し、300名以上の方々が亡くなりました。

博物館ではこの平塚空襲に関係する資料や証言を収集しています。しかし、年々、空襲の記憶が薄れ、今では平塚に空襲があったことを知らない市民の方も多く見うけられます。そこで、博物館では毎年、平塚空襲があった7月16日の前後の期間に平塚空襲に関係する資料を集めた展示をおこなっています。

展示では空襲で被災した平塚の街の特大写真で被災状況を実感していただくとともに、空襲体験者の証言を集めたファイルを設置し空襲の様子を知ることができます。そのほか、焼夷弾や体験者が空襲の様子を描いた紙芝居などを展示します。

また、平塚の空襲と戦災を記録する会が今年2月に第9回博物館まつりで作成した「平塚空襲と街の工場」も展示します。



AN-M50A2 テルミット・マグネシウム焼夷弾



被災状況－現東海道本通りと不動通りの交差点付近